

有効な感染拡大防止対策

～期待されるワクチン接種～



姫路工学キャンパス新型コロナウイルス感染症総合対策会議

2021.3.10

ハンドライヤー禁止、幅の狭いアクリル板…その対策、意味ありますか？

専門家が提言する「真の感染防止」

新型コロナウイルスの感染者が国内で確認されてから1年以上。「常識」となっている感染防止対策の中にも無駄や不十分な点があることが、専門家の分析で分かってきました。今だからこそ分かってきた有効な感染拡大防止対策についてお伝えします。

■**飛沫を浴びないこと**：新型コロナは飛沫とそれより小さいエアロゾル（浮遊微粒子）に混じって広がるため、その拡散を防ぐのが肝。マスクの着用は極めて大事で、いかにマスクを外す機会や会話を減らすかがカギとなります。肝心なのは、食べるときは黙ることと、飲食直前までマスクを着用することです。

アクリル板を設置する際も、幅が狭ければ脇から飛沫が対面に通り抜けてしまうため、最低、机の幅いっぱいになる必要があります。

■**職場での盲点**：使用前後に共有パソコンやキーボードを自分の手指とともに消毒するのはもちろんですが、**見落としがちなのは固定電話。共有電話機は短時間でさまざまな人が触るため、感染源になりやすい**のです。








本来は受話器を取る人が変わるときに消毒が必要ですが、子機の増設やいっそ共有電話を排し携帯電話やPHSなどの個別端末に切り替えるべきです。

通勤通学時にも注意が必要です。公共交通機関では定期的な消毒が行われていますが、つり革の消毒後にウイルスが付着し、それを触った手で目をこすり感染するなどのリスクは、どれほど消毒頻度を上げても残ります。公共交通機関の消毒は1日1回程度でやむを得ません。つり革やエレベーターのボタンなど、**共有部分を触ったら、客が手指消毒を徹底すべき**です。建物や店の入り口によく置いてある手指の消毒液は大事です。**部屋に入るとき、出るときの両方で無理なく消毒できるように**、ドアの付近で人の動線上に配置するのがポイントです。

■**無駄な対策も**：普及した感のある対策の中にも、無意味なものがあります。例えば、トイレにあるハンドライヤーの使用禁止。そもそもハンドライヤーは洗った後の手を乾かすもの。万一ウイルスが残存していてもごく少量で、トイレは一般に換気がよく、長居することも少ないためエアロゾルを吸い込んで感染する可能性は低いようです。ハンドライヤーがクラスターの原因になったという事例も報告されていません。マスクを外したりコートを脱ぐ際なども神経質になる必要はありません。医療現場ではマスクや防護服を脱ぐときは細心の注意を払いますが、それはウイルスが大量に付着している可能性が高いため

正しい感染防止対策

※順天堂大の堀賢教授（感染制御学）への取材を基に作成

	従来	より正しい
飲食	「孤食」飲食店の営業時間短縮	会食せず、一人で食べる店は営業時間の短縮は不要
	対面席にアクリル板	アクリル板の幅は、机の幅と同等
	着席時にマスクを入れる袋を提供	飲食時までマスクを着けさせ、飲食時に出し入れしやすいマスク置きを提供
運動	マスク着用しジョギング 	屋外では不要
オフィス	電話の共有 	共有する電話機は使用ごとに消毒するか、個別の電話を使用
	パソコンなどの消毒  	自分専用の機器では使用ごとの消毒は不要。共用機器は使うたびに消毒・手指消毒
家庭	自宅で家族を療養させる 	施設療養が望ましいが、同居の場合は家族と患者の居室を分け、トイレなど共用部はマスク・手指消毒を徹底
	マスクや服の脱着時に表面に触れない	医療現場以外で外部にウイルスが付着する可能性は低く、不要
電車	手すりやつり革などの数時間ごとの消毒	1日1回でやむを得ない。むしろ客側が触った後の手指消毒を徹底
宿泊	毎日、客室を消毒	客が変わるときに消毒。毎日不要
買い物	行列でソーシャルディスタンスをとる 	マスクをして会話しなければ、神経質になる必要はない
	ハンドライヤー禁止 	ハンドライヤーがクラスターの原因になった報告はなく、不要
保育	部屋に入る前に手指を消毒	ドアの付近で動線上に消毒液を配置する
	子供が触った玩具などの消毒	子供同士は接触の機会が多く、小学校低学年以下には順守させることは困難

す。今やほとんどの人がマスクをしており、一般の生活現場ではウイルスがマスクやコートに大量に付着している可能性は低いです。

■**家族間は困難**：人と同居している際の感染防止は極めて困難であるため、家族が感染した場合、施設での療養を強く勧められます。やむを得ず同居する場合は感染者の部屋と家族の居室に分け、トイレや風呂などの共用部を出入りする際はマスクを必ず着用して手指の消毒も徹底することと、リネン類の共有も厳禁です。

■**国民が学ぶ必要**：政府は感染リスクが高まる場面として、これまでの知見をもとに「5つの場面」を選定し、周知を図っています。コロナとの戦いは長期化してきました。昨年の経験を生かして、新しい生活様式を実践すれば、増加ペースは遅らせることができるはず。私たちは経験からきちんと学んでいかなければなりません。

感染が高まる「5つの場面」の対策

① マスクを外さない

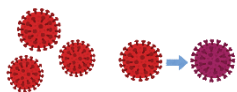
② 食べるときは黙る ③ 話すときはナプキンなどで口を覆う

マスクなしでの会話 飲酒を伴う懇親会など 大人数/長時間の飲食

④ ソーシャルディスタンスを確保する

居場所の切り替わり 喫煙所、更衣室など 狭い空間での共同生活

⑤ できれば別居する。難しければ、共有部分ではマスクを着け、手指消毒。リネン類は共有しない



国内の新型コロナワクチン接種、いつから？優先対象は？

新型コロナウイルスワクチン 想定される接種のスケジュール

2月14日	ファイザーのワクチンが特例承認
2月17日	医療従事者4万人への先行接種を開始
3月中旬	医療従事者370万人への優先接種を開始
4月12日	高齢者3600万人への優先接種を開始
4月ごろ	アストラゼネカのワクチンが特例承認？
4月以降 (未定)	基礎疾患のある人820万人への優先接種を開始 高齢者施設の職員200万人への優先接種を開始
5月以降	モデルナのワクチンが特例承認？
5月以降 (未定)	16歳以上の一般の人への接種を開始
6月	全国民分のワクチンの確保を目指す

厚生労働省の資料などをもとに作成

日本国内でも新型コロナウイルスのワクチン接種に向けた準備が進んでいます。開始時期や、優先接種の対象などをまとめました。

ワクチン 2月下旬に接種開始

新型コロナウイルスのワクチンをめぐり、政府は欧米の製薬会社3社と、計2億9000万回分の供給を受ける契約を結んでいます。このうち承認申請が進む米ファイザー製について、政府は最優先で審査を進め、2月17日に医療従事者への先行接種を開始しました。

一般への接種は3月下旬以降の見通し

接種は、まずは医療従事者が対象。3月中旬に県内の医療従事者への接種が始まる予定で、その後4月には重症化リスクが高い65歳以上の高齢者の優先接種が開始します。

厚生労働省は、医療従事者と高齢者に続いて、慢性の心臓病や呼吸器の病気、肥満などの基礎疾患がある人を優先接種の対象とする方針です。基礎疾患の有無を示す「証明書」は求めず、自己申告となります。

優先接種の対象となる基礎疾患は、▽慢性の呼吸器疾患▽慢性の心臓病▽慢性の腎臓病▽糖尿病▽血液疾患▽免疫の機能が低下する疾患——など。妊婦については、ワクチンの安全性・有効性に関するデータが不足しているため、現時点では優先接種の対象に含まれていません。

新型コロナウイルスワクチンの接種順位

優先順位	対象
①	医療従事者 (先行接種、約4万人) ▼国立病院機構 ▼地域医療機能推進機構 ▼労働者健康安全機構——の100医療機関
②	医療従事者 (約370万人) 患者を搬送する救急隊員や、患者と直接接する業務を行う保健所職員などを含む
③	65歳以上の高齢者 (約3600万人)
④	基礎疾患のある人 (約820万人) ▼慢性の呼吸器の病気 ▼慢性の心臓病 (高血圧を含む) ▼慢性の腎臓病 ▼慢性の肝臓病 ▼糖尿病 ▼血液の疾患 ▼免疫の機能が低下する病気 ▼免疫の機能を低下させる治療を受けている ▼免疫の以上に伴う神経疾患・神経筋疾患 ▼神経疾患・神経筋疾患によって身体の機能が衰えた状態 ▼染色体異常 ▼重症心身障害 ▼睡眠時無呼吸症候群 ▼BMI30以上の肥満
	高齢者施設などの従事者 (約200万人) ▼介護保険施設 ▼居宅系介護サービス ▼老人福祉法による老人福祉施設 ▼高齢者住まい法による住宅 ▼生活保護法による保護施設 ▼障害者総合支援法などによる障害者支援施設 ▼その他の社会福祉法などによる施設

接種対象、当面16歳以上で検討
厚生労働省が米ファイザー製のワクチンを承認する場合、接種対象を当面、16歳以上とする方向で検討していることがNHKの取材で分かりました。背景には日本での治験の対象が20歳以上で、日本人の子どものデータが得られないことに加え、海外の治験でも15歳以下についての十分なデータがないことがあるとしています。

新型コロナウイルスワクチンの接種が優先される持病

- 慢性の呼吸器の病気 ■ 慢性の心臓病
- 慢性の腎臓病 ■ 慢性の肝臓病
- 糖尿病 ■ 血液の病気
- がんなど免疫が低下する病気
- ステロイドなど、免疫を低下させる治療を受けている
- 睡眠時無呼吸症候群(SAS)
- 免疫異常に伴う神経疾患
- 神経疾患により体の機能が衰えた状態
- 染色体異常 ■ 重症心身障害
- 肥満(BMI30以上)



コロナワクチン接種までの流れ

厚生労働省の資料をもとに作成



ワクチン接種の流れは？ 接種費用は無料

コロナワクチンの接種費用が無料となるのが盛り込まれた改正予防接種法が20年12月2日、成立しました。費用は国が全額負担し、実施主体は各市町村長となります。

事前予約制、原則住民票の市町村で接種

方針によると、接種を受けてもらう場所は、単身赴任や入院中の人などを除いて原則、住民票を登録している市町村とし、接種を受けるのに必要なクーポンが順次、自宅に届けられます。その後、電話などで予約して、医療機関か市町村が用意する接種会場にクーポンを持参すると、接種を受けられるということです。

共同通信 2021/1/21 <https://news.line.me/issue/coronavirustips/7a1ac7379055>

産経新聞 2021/2/15 ハンドドライヤー禁止、幅の狭いアクリル板…その対策、意味ありますか？ 専門家が提言する「真の感染防止」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/4539c8e67f20da9bda1f5da5b345819de287b93c>

Answers News 新型コロナウイルスワクチン 日本国内の開発・接種状況は 2021/2/26 <https://answers.ten-navi.com/pharmanews/20139/>